

47 プロトテカ乳房炎

担当	検査チャート
家畜保健衛生所	<pre> graph TD A["(1) 疫学調査"] --- J1(()) B["(2) 臨床検査"] --- J1 J1 --- C["(3) 簡易藻類検査 (乳汁)"] C --- D["<直接鏡検>"] D --- E1((+)) D --- E2((-)) E1 --- F["(4) 藻類培養試験 <分離培養>"] E2 --- G((-)) F --- H1((+)) F --- H2((-)) H1 --- I1((+)) H2 --- I2((-)) G --- I3((-)) </pre>
病性鑑定施設	
判定・結果	<p>(+) (-) (-)</p>
最終判定	疫学調査、臨床検査の結果を基に、簡易藻類検査、藻類培養試験等の結果を併せて総合的に判断する。
その他	

→類似疾病検査

細菌性および真菌性乳房炎 放線菌による乳房炎

○ 病原体: *Prototheca zopfii* を含む藻類

(1) 疫学調査

- ① プロトテカによる乳房炎が多くなってきている。
- ② プロトテカは湿地帯土壌に普遍的に生息する。
- ③ 放牧や集約的飼育家畜の行動範囲の土壌に多い。
- ④ 原因はクロロフィル欠損した藻類である。
- ⑤ 原発性で発症することはない。
- ⑥ 細菌性乳房炎などに続いて発症する日和見感染症である。

(2) 臨床検査

- ① 抗生物質による治療には反応しない。
- ② 乳汁中にブツを認める。
- ③ 乳房が発熱する。
- ④ 乳房全体が肥厚する。
- ⑤ 痛感を伴う。
- ⑥ 慢性経過になることが多い。

(3) 簡易藻類検査(直接鏡検)

- ① 乳房炎の原因藻類は *Prototheca zopfii* が多い。
- ② 酵母状の細胞は確認されない。
- ③ 形態学的には複雑な囊状構造を呈す。

(4) 藻類培養試験(分離培養)

- ① 真菌用培地のポテトデキストロース寒天培地でよく発育する。
- ② 25～36℃、2～4 日でクリーム色集落を形成する。
- ③ 集落は、酵母状である。
- ④ 形態は酵母と異なり、多染性の複雑な大型囊状組織とその中に肥厚性の球状藻類特有の細胞を有している。
- ⑤ 鏡検には、ラクトフェノール液またはラクトフェノール・コットンブルー液を使用する。後者の使用で判別がより容易となる。